

## 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	中耳真珠腫症例における耳管機能の関連および耳管ピンの効果			
2. 対象患者	2016年1月から2021年5月に当院にて鼓室形成術を行った中耳真珠腫および耳管ピン手術を行った耳管開放症の患者様			
3. 対象となる期間	2016年 1月 1日 ～ 2021年 5月 31日			
4. 実施診療科等	耳鼻咽喉科			
5. 研究責任者	氏名	佐々木亮	所属	耳鼻咽喉科学講座
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	なし			
7. 研究の意義	<p>耳管の機能は中耳真珠腫の原因の一つであることが考えられており、真珠腫の患者様の中には耳管開放症を合併している患者様も見受けられます。これまでも耳管機能と真珠腫の関連についての研究はなされていますが、いまだ明らかにはなっていません。また、耳管開放症の手術による治療として耳管ピン手術が認可されました。この耳管ピンは手術を行った後でもサイズの変更や取り除くことができるものです。この耳管ピンの挿入により耳管開放症の真珠腫合併を予防することも可能と思われます。</p>			
8. 研究の目的	<p>中耳真珠腫患者様の耳管機能を調査し、耳管機能と真珠腫の関連を調べることを目的としています。また、耳管ピン手術後の経過を調べることで、真珠腫合併を予防することができるかどうかを検討することも目的としています。</p>			
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合の方法等)	<p>2016年1月1日から2021年5月31日の期間に弘前大学医学部附属病院耳鼻咽喉科にて鼓室形成術を行った中耳真珠腫および耳管ピン手術を行った耳管開放症の患者様の診療記録を振り返り、手術方法、手術前後のCT検査所見、耳管機能検査の所見、手術前後の症状の変化、耳管ピンのサイズ、術後合併症などを検討します。 外部への資料提供はありません。</p>			
10. 個人情報の保護	<p>本研究の実施に係る診療記録は研究対象者識別番号を用いて個人情報(氏名・住所など)を含まない形で調査を行います。 対象者の方より拒否の申し出が合った場合は、研究対象から除外しデータを削除致します。ただし既に匿名化のうえ解析済みの場合や、研究成果公表済みの場合はデータを修正することはできませんのでご了承ください。</p>			
11. 利益相反に関する状況	<p>本課題の研究代表者および共同研究者は資金や便宜の提供は受けていませんので利害の衝突は起こりません。なお、この研究の利害関係については、弘前大学臨床研究利益相反マネジメント委員会へ届出ております。</p>			
12. 連絡先	弘前大学大学院医学研究科 耳鼻咽喉科学講座 佐々木亮			
	電話	0172-39-5099	FAX	0172-39-5100